

倉掛新聞

《発行所》
倉掛自治連合会
井原市井原町倉掛
会長/大坪正広
《編集》
倉掛自治連合会
倉掛婦人成
倉掛少年団第5
消防井原分団

郷社の算額に驚嘆

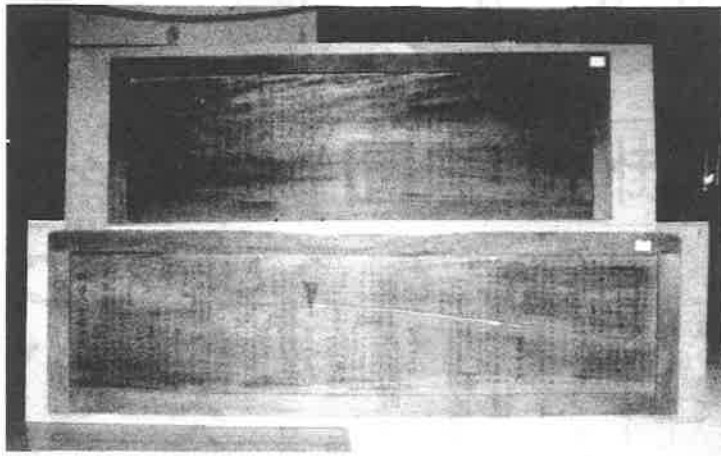
岡大付属中 一行三十人 和算の歴史を再発見

郷社足次山神社に奉納されている「算額」と呼ばれる絵馬を見学しようと七月四日、岡山大学附属中学の数学研究グループ一行三十人が訪れた。

郷社に現存する算額は明治八年五月、井原町新町出身の和算家・佐藤善一郎貞次及門人と同年六月、山成

恒八貞正他によって奉納された二面。共に三角形や円などで示した図形の面積を求める計算方式や、解答が見学した。

岡山県内に現存は12面



写真=上は伊能忠敬と行動を共にした有名な算家・谷東平(大江町・谷棧作氏の6代前久太郎の兄)に宅間流算法を学んだ佐伯貞斎(矢掛町)の門人佐藤善一郎が奉納した算額。下は善一郎の門人山成恒八ら5名が奉納した算額

記されている。

倉敷芸大のホームページで郷社の算額のことを知った同中学校の数学の楽しさを伝えるプロジェクト(大月一泰先生ほか三十人)はバスで郷社を訪れ、大久保総代の案内で二面の算額を見学した。

百年以上前の世界へ

大月先生は「実物を目にして百年以上前の世界に入り込んだ気持ちになった。鮮やかな色やコンパスの跡などに驚き、岡山のこと、

「算額って？」

解説

算額とは神社などに奉納された数学の絵馬。江戸中期、寛文年間の頃から始まった風習といわれ、現在、岡山県内には十二面が現存する。算額は数学の問題が解けた

計算解いた記念に奉納

奉納されたと考えられている。日本人の数学「和算」

素晴らしい宝

大原隆司君は「しっかりと管理されており最高の状態だった。漢文がよく分かった。昔の人が残した素晴らしい宝だと思う。良いものを見せてもらった」。

木村明寛君は「算額は古くなり、ひびが入ったりしていたが、板を打ちつけるなど長く保存する努力が伝わってきた」と、感想を述べていた。

地域福祉に尽力

二組 若林恵美子さん受賞



市長賞

足次老人クラブ(平松忠男会長)の若林恵美子副会長(倉掛二組)が、井原市老人クラブ連合会の大会で市長表彰を受けた。若林さんは同クラブの運営発展に寄与すると共に、

谷本巖井原市長(左)と倉橋英男画伯(右)



元気に満95歳

倉掛6組の倉橋英男画伯 谷本市長も誕生日祝う

倉掛六組の倉橋英男画伯が七月十六日、元気に満九

十五歳の誕生日を迎えた。この日は谷本巖井原市長

敬老会や各イベントで得意の舞踊を披露するなど、献身的な福祉活動を高く評価された。若林さんは「身に余る光栄と恐縮しています。これからも皆様方とのふれあいを大切にしていきたい」と話している。

さくらの家活動盛ん

自治会総会の 会場予定にも

井原駅前大通りに面した倉掛地内の福祉活動拠点、さくらの家の利用者が年々増加している。

同所は平成十年に開設以来、お年寄りの交流の場として定着し、最近は一日平均

均十二人が訪れている。七月の七夕まつりには五十人を超える人々が集い、有意義な一時を過ごした。「地域活動にも気軽に利用頂きたい」と、ボランティア職員もあって、八月二十四日には倉掛自治会臨時総会の会場にもなる見通し。

「歴史ある郷社に相応しい文化遺産の一つ。見学希望者は遠慮なく申し出て頂きたい」と話している。

もお祝いに駆けつけ、絵画や健康状態に関して談笑。二年前に井原へ戻った長男俊彦さんら家族と昨年春、落合町の醍醐桜を見に行った事に話が及ぶと、画伯の目が輝きを増した。谷本市長が帰り際に「百歳を元気に迎えて頂きたいですね」と声を掛けると、倉橋画伯は「有り難うございます」と、明るい表情で礼を述べた。

倉掛男性の最長老

倉橋画伯は、明治四十年七月十六日生まれで倉掛地区男性の最長老。「今年あまりに暑さが厳しいので絵の方も休むことが多い」と妻の光子さん。医師の佐々木健氏は「倉橋先生の場合は、創作意欲や二階のアトリエへの上がり下りが体力保持につながっている様です」と、長寿の秘訣を分析している。

川遊びで大はしゃぎ

倉掛少年団

鮎つかみ取りや遊泳 山野峡谷でキャンプ

七月十三日から二日間、倉掛少年団（平井伸茂団長二十四人）と同育成会（濱田吉雄会長二十一人）が、広島県山野峡谷で自然体験キャンプを行った。



岩場から飛び込むなど、川の面白さを満喫した少年団員（河童橋付近）

午前十時過ぎに郷社を出発した一行は、四十分ほどで目的地のキャンプ場に到着。昼食後、男女各三班に分かれ、テント張りや荷物運搬に汗を流した。一息ついて、近くで分けてもらった四十四匹の鮎を浅瀬に放流し「魚のつかみ取り」にチャレンジ。



6年佐能沙耶香さんは、「鮎はぬるぬるして気持ち悪かったけど六匹取った」と、育成会の粋な計らいに大はしゃぎ。6年野宮周平君は石に隠れた鮎を仲間と苦勞の末につかまえ、思わず「やったー!!」。

倉掛の夏の風物詩といえば郷社でのラジオ体操。少年団行事になって既に43年の時が流れた。今年も団員の指導を頼まれ「やむを得ず引き受けた」と、話すのは初代育成会長の8組大久保格さん。

ラジオ体操43年

8組 大久保 格さん (82)
今年も地区民集う

普段は中町公園のラジオ体操に参加している倉掛の人々も「夏休み中だけは地元で」と、子供たちと一緒にラジオ体操を行っている。



つかまえた!

キャンプファイアは夕刻七時から始まり、味あてクイズなど班ごとの出し物や倉橋一郎さんのライブで楽しんだ。翌日は午前六時起床。前夜聞いた河童伝説が怖くて寝不足の団員もいたが、全



「夕食はバーベキューでした。肉や野菜のほかに、昼につかみ取りしたアユも焼きました。塩をつけて竹ぐしにさして焼きました。いいにおいがしました。食べるのちよっとにがかったです」
5年丸山泰弘君

員元気がいっぱい。ラジオ体操に続いての朝食では、飯盒で炊いたご飯と手を掛け代わりする団員もいた。
勢いよくザブン
帰り支度を整えてから、恒例の宝探しやビンゴゲームで遊ぶ。最後の自由時間は川でひと泳ぎ。子供の頃にこの辺りでよく遊んだ山野町出身の松井憲司前育成会長が推薦する場所、飛び込みにも挑戦した。

4年横田博子さんは「深そうで初めは少し怖かったけれど、一度飛び込んだら面白くなった」と、岩場から勢いよくザブン。人工プールでは味わえない川遊びを満喫していた。
育成会の濱田会長は「今年魚のつかみ取りや水遊びなど、自然の中での体験や遊びができ、思い出深いキャンプになった」と、初めて夏休み前の土日に実施した倉掛少年団のキャンプを振り返っていた。

キャンプの思い出

「キャンプではアユをとったり川で泳いだりしました。キャンプファイヤーでは花火や出し物をしました。今年はぼくにとってさいごのキャンプでした。とてもたのしかったです。おじさん、おばさんありがとうございました」＝6年 平井伸茂
「あゆを手でとりました。ぬるぬるしてつかみにくかったです。わたしは一匹だけとれました。そのあと、くしにさして焼きました。二ひき食べました。とってもおいしかったです」＝4年 谷知美
「キャンプファイヤーでは、みんな楽しい出し物をだしてくれてよかったです。最後に倉橋さんが私のリクエストした「島唄」を歌ってくれました。かんげきしました。おもしろかったです」＝6年 細羽いづみ
「子供と共に童心に帰って遊び、また保護者の皆さんとも親睦を深め、お互いの距離を縮めることができた様に思われます。ちょっと疲れたけれど、楽しいキャンプを有り難うございました」＝育成会 森 吉生

- ◆ 行事予定 ◆
- 8/3 田 井原市夏祭り
- 8/4 田 倉掛少年団清掃奉仕作業
- 8/4 田 井原市花火大会
- 8/9 田 さくらの家 書道教室
午後1時～3時
- 8/10 田 資源の日 古紙・古着等収集
午前7時30分～9時
- 8/11 田 井原町盆踊り大会（井原小）
- 8/17 田 自治連合会防犯パトロール
- 8/18 田 井原小学校PTA奉仕作業
- 8/22 田 さくらの家 パッチワーク
午前10時～午後3時
- 8/24 田 倉掛自治会14年度臨時総会
午後7時～さくらの家
- 8/29 田 さくらの家 絵手紙教室
午後1時～3時
- 8/31 田 井原中学校PTA奉仕作業
- 9/2 田 市内小中学校始業式
- 9/8 田 井原町敬老会（井原小）
- 9/14 田 資源の日 古紙・古着等収集
午前7時30分～9時
- 9/15 田 井原中学校運動会
- 9/22 田 井原町大運動会（井原小）